

# めじろむつみクラブ(MMC)会報

〔第29号〕 2014年(平成26年)5月2日発行

特定非営利活動法人(NPO)  
めじろむつみクラブ(MMC)事務局  
住所: 八王子市めじろ台2-37-12  
tel: 080-1038-6875  
<http://www.hachioji-mmc.com/>

陽春の候、地域の皆様におかれましては益々、ご健勝のことと思います。  
26年度は期待される景気対策、消費増税もスタートしてこれからの成長戦略の成果が問われることとなります。

3年目を迎えた東日本大震災、そして伊豆大島の大雨による土砂災害、被災者のかたがたの心身の立ち直り、また一刻も早い本格的な復興が強く望まれます。

さてNPO法人めじろむつみクラブ、略称「MMC」は高齢者を支えあう有償ボランティア団体として家事支援を主軸に活動してきましたが、知名度も高まりめじろ台以外の周辺地域にまで利用会員が広がりつつあります。

各町会からもご理解と信頼を受け、数多くの作業依頼を受けるようになりました。

また、作品展を始めとする各種文化活動は世代間交流も含めて地域の皆様に親しまれております。

MMCは地域に信頼された12年間の実績を原点に、今年度も健全なる一歩を進めて参りますのでよろしくお願い申し上げます。

理事長 高橋 光男



## 平成25年度のMMC活動状況

詳しい活動状況につきましては総会資料等でお知らせしますが、概略は次の通りです。

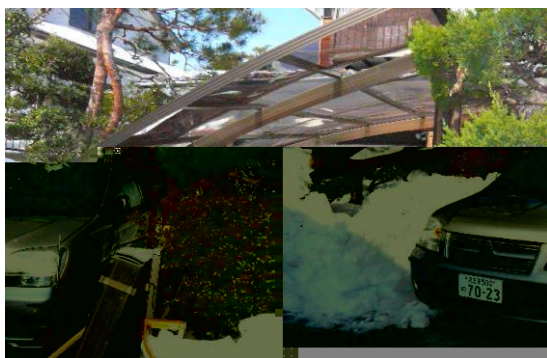
### 1. 25年度作業の状況(3月31日現在)

#### (1) 生活支援事業

4月1日からの作業件数は136件、金額面では3,424,000円で、24年度に比べ件数では106.3%、金額面では112.3%と、増加しました。

作業の多かったベストスリーは、植木剪定除草処分、草刈処分、家庭内外小規模作業ですが最近では小規模作業が増えてきました。

今年の2月の大雪では倒壊したカーポートの撤去作業も3件させていただきました。



大雪でカーポート壊れる



カーポートの撤去

#### (2) 地域交流事業

##### 1) 有償作業

作業延べ件数は33件、金額面では630,000円、24年度に比べ件数では157.1%、金額面では107.1%と件数が大幅に増加しました。

空地の草刈処分以外に、1丁目町会から依頼の駅前の灰皿清掃、空家対策（植木切断、隣家に竹の根の侵入防止）にも協力しました。また入室のための空部屋清掃作業も行いました。



隣家境界に溝を掘り、  
鉄板を入れて根の進入を防ぎます



空室を使用するため掃除作業

## 2) 無償事業



会員の舞踊を披露

年間を通してめじろ台各町会や、地域内外の各組織と交流を行い、永生病院フェスティバルでは会員有志による舞踊を披露し、患者たちを慰問しました。



## 3) イベント



MMC2014 めじろ寄席

6月に「大震災が発生した場合、果たしてめじろ台は？」の防災講演会を、11月には第9回「趣味の作品展」開催、12月にはギターとマンドリンによるクリスマスコンサート、3月には大学落語研究会によるめじろ寄席（詳しくは4面）を開催し、皆さんに楽しんでもらいました。

## 4) 広報活動

会報紙を年に3回発行し、またホームページにも記事を掲載して、広報しました。

4月には八王子メディア、6月に市の広報、9月に市民活動協議会、1月に読売新聞地域情報誌の取材を受け、活動状況が記事になりました。

その他市内の団体交流会に参加したり、八王子志民塾の塾生の皆様にも活動内容を説明し、今後の参考にしてもらいました。

### (3) 資機材置き場の移動



山田町内田邸納屋の資機材置き場

今までめじろ台2丁目、めじろ台整形外科医院様所有の農園に資機材を置かせてもらっていましたが、3月末で農園が返還になったため、社会福祉法人めじろ会理事長・柗澤章次様ご夫妻のご好意により、山田町1565番地、先代の前理事長内田史様宅の納屋を使わせてもらえるようになりました。感謝申し上げます。

また、水谷整形外科医院長様には長年に亘り、快く資機材置き場を提供させていただきましたことに心よりお礼申し上げます。

#### ◆ 新年度のトピック-1



さくら祭りで当会のPR

4月5日、今年は丁度桜が満開となった万葉公園で、めじろ台桜祭りが開催され私たちNPO法人めじろみつみクラブも出店して会のPRを行いました。



#### ◆ 新年度のトピック-2

めじろ台駅前ロータリー入口付近のレストランバーミヤン横に花壇ボックスがありますが、久しく植え込みが無く殺風景とのことで京王不動産様から植栽の依頼があり、皆で苗木の植え込みをしました。駅前の灰皿スタンド清掃、今年度も引き続き1丁目町会からの依頼で清掃を行っていきます。街の活性化、美化のためにMMCとしてできるだけ貢献したいと思っています。



作業前の風景



作業後の風景

#### ◆ 新会員の紹介

・12月以降、4月に鈴木俊光、新島光徳、山本自子さんが入会されました。

#### ◆ 事務局便り

・新年度に入り、事務局員、作業会員一同、少しでも皆様のお役に立ちたいと今年も張り切っています。どのようなことでもご相談ください。

またお近くで作業をしてもらいたい人、作業をやって見たい人がおりましたら是非、ご紹介ください。

## MMC 落語寄席2014を開催

日 時 平成 26 年 3 月 6 日(木)

場 所 めじろ台第一会館

木戸銭 300 円

今回も中央大学落語研究会のメンバーのうち 4 名を招いて開催。当日は、天気は晴ながら、2 月 14 日の大雪の余波もあってか、まだ肌寒い感じで、風も強かった。入場者は 30 名。会場は公演が進むごとに盛り上がり、異世代交流の狙いは充分達成できた。

### 1. 「後生鰻」(暗楽庵ミルキー)

殺傷嫌いのご隠居の話。浅草時に日参していたが、ある日、道を変える。とある鰻屋の前で、まさに鰻がさばかれようとしていた。可愛そうにと 1 匹 1 円で買い、「南無阿弥陀仏、後生でした」とそばの川に逃がしてやる。次の日は 1 匹 2 円で。味をしめた鰻屋が鰻のほかにもドジョウなど売ようになる。ところがご隠居さん、突然鰻屋の前を通らなくなる。ある日、再び通り始める。鰻屋、あわてて、カミさんに「何か活きているモノないかと」。結局、カミさんをさばき台に乗せる。「いくらだ」とご隠居。「100 円になる」と。前の川に、カミさんをドボーンと。

### 2. 「まんじゅうこわい」(ふられ亭小夜奈良)

「寿限無」や「目黒のさんま」などと並ぶ有名な噺。集まった町内の衆。怖いものを次々に挙げる。カエル、アリ、馬、なめくじなどなど。そこで熊公がそんなものは怖くないと。俺は、「まんじゅう」。餡は、つぶ、栗、蕎麦など皆、怖い。仲間は、熊公の寝ているところに、いろんな饅頭を…。さっさと食べてしまった熊公、最後には「お茶がこわい！」

### 3. 「ちりとてちん」(青春亭乙丸)

大阪で生まれた古典落語。

夫婦 2 人暮らし。作った料理が予定外となり、世辞のうまい清さんを招く。褒め言葉をあれこれ言いながら出された料理を食べる。そこに知ったかぶりの熊さんも呼び、珍しいと言われる台湾料理「ちりとてちん」を出す。

実は酢豆腐。四苦八苦して食べる熊さん。味は？との返事に「腐った豆腐のようだ！」

### 4. 「新聞記事」(ふられ亭粹雀)

古典落語の演目の一つ。

八つつあんとご隠居。八つつあんは「俺は新聞など読まなくても何でも知っている」と。今朝の新聞記事で、てんぷら屋の竹さんが日本刀を持った泥棒に殺されたことを知っているかのご隠居。なまじ剣術の心得のあった竹さん。「犯人はあげられた。這入ったところがてんぷら屋だから」この落ちを含めて、一部始終を聞いた八つつあん。仲間に話すが、ご隠居の話通りには中々進まず、「落ち」までたどり着けない。さんざん手こずってようやく「落ち」の「あげられた。這入った所がてんぷら屋だから」に。

これを聞いた男「続きのあるのを知ってるかい。竹さんのカミさんは亭主が死んで、二度と旦那を持たないと尼さんになった。」聞いた八つつあん「どうして？」「もとがてんぷら屋のカミさんだけに衣を付けたがらあ」

以上の 4 演目が終了、多少時間があつたので、会場から落研メンバー 4 人への質問を受けた。

1. 学生生活は？
2. 寄席に行っているのか。好きな落語家は？
3. 落研メンバーの人数は？どんな人が入部するのか。
4. 将来、噺家なるのか。

などなど。落研の部員は 20 名。女性も 3 人いる。将来は噺家にはならないようだった。

終演後、読売新聞のタウン誌「よみっこ」記者から「地域と大学生」のテーマで、出演者、MMC 一部関係者が取材を受け、和気あいあいのうちに散会した。

会場つくりにご協力頂いた会員の皆様に感謝します。

(講座開設事業担当)